



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者  
執行委員長 針谷 歩

2021/2/2 No.17

2021年2月2日

八地申第21号

## 安全な八王子駅輸送業務を

## 構築するための申し入れ提出!



八王子支社より「2020年度営業関係施策について」の団体交渉を行った以降、地本と八王子駅分会ではホーム上の安全について議論を積み重ねてきました。施策実施にあたっては安全とサービスレベルを低下させることは絶対に避けなければなりません。安全・健康・ゆとり・働きがいの持てる八王子駅を構築していくために、下記の通り申し入れをおこないました。

1. 今後の八王子駅輸送社員の業務内容と、会社として考えている立ち番が必要な時間帯を明確にした作業ダイヤを示すこと。また車いすご利用のお客さま案内を委託した後のフロー図を示すこと。
2. 輸送社員が常時業務する箇所を明確化と、ホーム上の安全を確認できるモニタを増設置すること。また、信号所から列車停止警報装置や放送できる設備を整備すること。
3. コロナ禍において、業務箇所が密になるような業務体制を避けること。下りホーム事務室を今後も活用すること。
4. 安全と案内サービス上、優等列車発着時に立ち番を配置し乗降終了合図を行うこと。ITVを整備しても1画面3両×4画面12両が限界である。また、9号車の中間はITVが整備されておらず、ドアを閉める際は180度の視野が必要となる。中線も整備されていない箇所があることから、「あずさ・かいじ」等の優等列車の発着時は立ち番を配置した作業ダイヤを確保すること。
5. ライフサイクル深度化で異動した社員が現在も在籍しているので、制度の趣旨に基づき安全意識の向上と技術・技能継承を強固なものとするため、作業ダイヤを作成するにあたっては、現場社員の意見を反映させ、安全な八王子駅輸送体制にすること。
6. ライフサイクル深度化・ジョブローテーション運用については、本部・本社間の議事録・覚書を遵守し、キャリアプランならびに生活設計もあるので、異動に伴う事前通知などは、余裕をもって行うこと。
7. 今後、問題が発生した際は、労使議論により問題解決を図ること。

現場の状況を熟知した組合員の意見を  
反映させ、安全な八王子駅輸送をつくり  
だそう!

